



「三島村と出会えてよかった！」

〜しおかぜ留学生は三島村でたくさんの方のことを学んでいます〜

しおかぜ留学生が留学して思ったこと、学んだことなどを地元の新聞「南日本新聞」の投稿欄にたくさん投稿してくれていますので紹介します（学年は掲載当時です）。

留学を考えている「あなた」「保護者の皆さん」、ぜひ参考にしてください！

[2024年度]

【掲載内容】

[題 名]	[掲 載 日]	[出身都道府県]
1 私は私のままで ゆっくりでいい	2024年 4月22日	鹿児島県
2 8人で頑張る	2024年 5月 8日	神奈川県
3 すれ違う人皆あいさつ 驚いた	2024年 5月21日	東京都
4 うれしい手紙	2024年12月 3日	東京都

私は私のままで ゆっくりでいい

三島竹島学園 6年生

「そんなのない。」学校の授業で先生に目標を書いたと言われたとき、そう思った。

みんなが「ああしたい」「こうしたい」と目標を書いているとき、私は1人手を止めていた。

「早くみんなに合わせなきゃ。」でも、何も思いつかない。まわりに流されてばかり。自分がないみたい。結局、昼休みに書いた。

学園に来たはじめもそうだった。分からない。何もできず、ずっとかたまっていた。でも、担任の先生は「ゆっくり自分のペースでいいよ。」と優しく声をかけてくれた。なんだか楽になれた。苦手な文章が今では得意になった気がする。

三島竹島学園は今年、児童生徒合わせて8人しかいない。すごく少ないからこそ、後輩のお手本になれるような、頼りがいのある6年生になりたいという目標ができた。

どれくらいかわかるかは分からない。ゆっくりでもいい。期待や応援してくれる人がいるうちは、それを幸せだと思って頑張っていきたい。

そして目標をくれた学園で人生で一度しかない小学校生活を、みんなとの楽しい思い出で飾っていきたい。



(2024年4月22日 掲載)

8人で頑張る

三島竹島学園 5年生

今年の三島竹島学園は、前期生（小学生）6人、後期生（中学生）2人の全校児童生徒8人です。人数がとても少なくなりました。

僕は進級して高学年の5年生になり、頑張りたいことがたくさんあります。

一つ目は「後輩に優しく」です。困っていたら、分からないところを丁寧に教えてあげたいです。

二つ目は「テストを解けるように」です。しっかり勉強して「この問題が分からない」というのをなくしたいです。

三つ目は「早く起きて、朝ご飯の手伝いを積極的にする」です。お昼や夜のご飯の手伝いも、たくさんできるようにしたいです。

四つ目は「早く寝る」。最近、遅い時間になっても起きています。時計を見て早く寝るように心がけます。

5年生のうちに全部できるようになれればと思っています。

(2024年5月8日 掲載)



すれ違う人皆あいさつ 驚いた

三島竹島学園 9年生

三島竹島学園に入学するために今年度、竹島にやってきました。島を初めて見た時、名前のおり、竹に覆われていて驚きました。海も近いし、自然に恵まれたいい島だなと思いました。卒業するまでの1年間の生活が楽しみです。

しおかぜ留学制度を使って島に来たので、しおかぜハウスに泊まっています。そこは、留学生を受け入れている家です。里親さんと他の留学生たちが笑顔で迎えてくれました。

そこで、驚いたのは、夕食に釣った魚が出されたことでした。ずっと東京に住んでいたのに、こんなに肉々しくてうまい魚を食べるのは初めてでした。

次に驚いたのは、すれ違う人々がみんなあいさつをしてくれたことでした。都会ではそんなことはほとんどありません。島の皆さんは本当に温かくて、すてきな島です。これからも竹島での生活を楽しみます。

(2024年5月21日 掲載)



うれしい手紙

三島大里学園 8年生

三島村の三つの島を巡るワンデークルーズツアーがあります。三島大里学園の生徒は港に来たツアー客にジオガイドとして話すことになっていました。一生懸命準備をして、本番が楽しみでした。

しかし、台風の影響で中止になってしまいました。三島村の特産品や歴史を知ってほしかったので、とても残念でした。

準備した動画を三島村ジオパークのホームページに村役場が載せて、ツアー会社が参加予定者に送ってくださいました。動画を見た方々から感想の手紙が届きました。

「次こそは島を訪れたい」という言葉や、私たちの工夫について気付いた点を書いてくださっていました。頑張ってたよかったです。

ヘルパーさんと参加を希望した目の不自由な方もいました。これからもジオ学習を通して、三島村の魅力を伝えていきたいです。



【ワンデークルーズに向けたリハーサルの様子】

(2024年12月3日 掲載)